

国土交通省では、生産性向上にむけたi-Constructionの取り組みの一つとして、ICT土工技術の活用を目指しています。富士砂防事務所では、“平成28年度富士山竹沢第1砂防堰堤本体工事”の現場で、ICT土工に取り組むとともに、主な施工タイミングにあわせての見学会を開催しています。

見学会は、富士砂防事務所のみならず、地元建設業協会や測量会社、自治体職員の方々にも参加して頂くことで、多くの方がICT土工技術活用の一連の流れを習得して頂くことを目的としています。

## ICT土工 施工の流れ

①3次元起工測量

②3次元設計  
データ作成

③ICT建機による施工

④3次元出来型管理  
等の施工管理

⑤3次元データの納品

### 第1回:3次元起工測量 現地見学会

(H29.1.13開催)

参加人数 約40名

ドローンを用いた3次元起工測量について、作業手順や注意点について学んだ後、実際の起工測量の実施状況を見学していただきました。



ドローンを確認する参加者



測量方法の説明を受けた後に、ドローンの飛行状況を確認する参加者



施工現場状況(写真手前のエリアを掘削予定)

### 第2回:ICT建機による施工 施工状況見学会・体験会

(H29.3.22開催)

参加人数 約40名

3次元起工測量から、MCバックホウを用いた掘削作業までの流れについて理解を深めて頂きました。また、MCバックホウを実際に操作して頂き、自動制御の様子を体験して頂きました。



←MCバックホウのデモンストレーション操作

MCバックホウを操作する女性参加者→

#### MCバックホウとは?



GPSや様々なセンサーの情報から機械の位置や動きを把握し、事前に入力しておいた形状にあわせて自動で掘削する事が可能なバックホウ。